

○6番（青木輝明君） 改めて、こんにちは。議席6番、青木輝明です。傍聴者の皆さん、忙しい中、大変にありがとうございます。議長の命を受けまして、一般質問をさせていただきます。

私からは、物価高騰対策について質問です。以前コロナ禍において、当町では18歳から25歳の若者に対して、米、野菜、マスクの支援を実施しました。これが多くの若者及び家族の方に喜ばれ、大変な状況乗り越えようというポジティブなエネルギーを生み出していたように思います。

それを踏まえての質問となりますが、今回の物価高騰を受けて、同じように境町出身の若者に向けた食料支援が実施できないか、こちらについて当町としてはどのように考えているか、意見を聞きたいと思います。

以上、質問になります。

○議長（倉持 功君） ただいまの物価高騰対策についての質問に対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長 島根行雄君登壇〕

○総務部長（島根行雄君） 改めまして、おはようございます。それでは、青木議員の物価高騰対策についてのコロナ禍に実施した境町出身の学生に向けた食料支援について、足元の情勢を踏まえ、物価高騰対策として実施できないか、町の考えを伺いたいとのご質問にお答えをいたします。

まず初めに、コロナ禍に実施しました食料支援についてでございます。コロナ禍に実施した境町出身の学生に向けた食料支援につきましては、令和2年4月7日に総理大臣が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府、兵庫県、福岡県の7都府県に緊急事態宣言を行い、これを受けた対象地域の都府県知事より、その地域住民に対し外出自粛の要請があったことから、この感染防止対策のため実家に帰省することを自粛した18歳から25歳の若者で支援対象となっている方に、申請により境町産のお米5キログラム、品薄の状況が続き購入が難しかったマスク10枚セット、地元のおせんべいなどを詰め合わせた贈り物により応援事業を実施させていただきました。令和2年4月28日から令和3年3月31日までの支援期間の中で、東京都、埼玉県、神奈川県、富山県、京都府、三重県、広島県、北海道などにお住まいの支援対象者の若者300名から申請をいただきましたので、地元特産品詰め合わせセットの贈り物により支援をさせていただいたところであります。

次に、物価高騰の現状についてでございます。今般の物価高騰につきましては、民間調査会社が国内の主な食品メーカー195社を対象に行った調査によりますと、今月値上げされる食品は合わせて2,343品目になり、5か月ぶりに2,000品目を上回ったとのことでございます。主な品目では、冷凍食品などの加工食品が1,381品目と最も多く、次いでジュースやコーヒーなど酒類、飲料が534品目、チーズやヨーグルトなどの乳製品が284品目となっております。

調査した会社によりますと、原材料費の上昇に加え、物量コストや人件費の上昇が値上げの要因になっているとのことでございます。また、今年1年間に値上がりする食品について、食品メーカーが

これまでに発表したものだけで1万797品目に上っているところでございます。あわせて、年間の食品の値上げが1万品目を超えるのは去年より4か月早くなっており、これは去年を上回るペースで物価の上昇が続いているものと考えております。

次に、町の物価高騰対策についてでございます。当時、支援対象とした18歳から25歳までの若者の住民登録者数は2,027名であり、うち300名、住民登録者の14.8%の皆様から申請をいただきました。2月末日現在の同条件の対象者の住民登録者数は2,004名でございますので、事業を実施した場合には同様に300名程度の申請があるものと考えております。

今般の物価高騰が継続している状況を踏まえて、町といたしましては境町出身の若者を支援するため効果的な施策等につきまして、議会の皆様と相談をしながら実施してまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し質問はございますか。

青木輝明君。

○6番（青木輝明君） 再質問はありませんが、議員の皆様にもご理解いただきながら町のほうにお願いして、質問を終わらせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） これで青木輝明君の一般質問を終わります。